

令和5年度事業報告書

法人の名称

特定非営利活動法人楽しいスポーツを支援する会

1、 事業の成果

今年度の川崎市多摩スポーツセンターにおける水泳指導は全4期開催し夏休みには短期教室も行った。その他には知的障害者の競泳練習、成人水泳教室、マスターズ練習会、横浜国際水泳場において成人の長水路練習会と推進2.5mのサブプールにおいてスタート練習会も開催できました。マスターズ大会には6回参加し、男子のリレーにも出場しました。

今年度は指導者養成事業を開催できませんでしたが、成人水泳教室やマスターズ練習会においては参加者に対し、学童における水泳指導上の注意条項などを伝達する事を行いました。自分で泳ぐ練習をしながら子供たちに水泳指導をしている方々がいます。こういう方々にとっても役に立つ練習会を行っていききたいと思います。

2、 事業の内容

令和5年度マスターズ

目的 競技会への参加により会員同士の親睦を図る
泳力向上を目指し、より深く水泳について理解する

活動内容 年間6回マスターズの試合に参加
2024年ジャパンマスターズ
2024年度日本短水路大会（川崎会場）
東京都マスターズ（アクアティックセンター）
東京都マスターズ（アクアティックセンター）
深谷ディスタンス大会等

感想 今年度は日本マスターズ大会や短水路日本マスターズ大会などに6回参加し、初めてリレーも出場しました。マスターズ登録者も18名になり次第に活況を呈してきました。又、マスターズ会員の練習会を開き参加者はスタートやターン練習をはじめフォームチェックができ、楽しく大会に参加しました。今後もマスターズ大会参加者の支援をしていききたいと思います。

収支 収入：0円(年会費より)

支出 登録料 5,000円 交際費 2,376円 交通費 4,300円 計 11,676円

収支 - 11,676円

ホームページ啓蒙活動

目的 会員を中心に情報を提供し、如いては一般の方々がアクアムーブメントに興味を持ち、水中運動や水泳を自身の生活の一部として位置付けていただける

ように様々な情報を提供するとともに関係各位の知識経験を多く方々に共有していただく。

活動内容 ホームページをより活用し、会員専用ページに NPO 講師や職員、指導員による様々な情報提供。マスターズ競技会報告、障害者の競技会報告など関係者の活動報告、イベント開催情報などを掲載。

感想 今年度は掲載回数が減少しました。来年度は、新たな企画を考える必要があります。その反面、マスターズ参加者が参加報告をこまめにしてくださりました。知的障害者の方のレース報告もありました。皆さんにご協力をして頂きました。

収支 収入 0円(他の事業収入より)
支出 0円
収支 0円

川崎市多摩スポーツセンター水泳・水中運動教室

期日 令和5年10月～令和6年9月

場所 川崎市多摩スポーツセンター

対象 幼児から高齢者

内容 水泳・水中運動指導

指導員 専属職員2名、アルバイト指導員14名

目的 川崎市多摩スポーツセンター内プールにて、アクアムーブメントの理論と実践体系を活かした水泳・水中運動を継続して行い、川崎市多摩区地域の健康とスポーツの推進に寄与する。

成果 今年度も、新型コロナの影響で参加人数の制限をして開催しました。それに加えて、施設補強工事の為5ヶ月教室を開催できませんでしたが、開催後は昨年度と同様の参加者が集まりました。指導内容も皆さんに喜んでいただける内容でした。

2023年10月から2024年9月までの参加者数となります。

教室参加人数	R5年10月～12月	R6年1月～3月
キッズクラス	54名	55名
ジュニアクラス	169名	143名
成人クラス	71名	61名
シニアクラス	32名	30名
アクアビクス	20名	23名
	R6年4月～6月	R6年7月～9月
キッズクラス	59名	73名
ジュニアクラス	187名	178名

成人クラス	72名	71名
シニアクラス	31名	34名
アクアビクス	24名	28名

短期教室

夏休み短期教室

キッズクラス	9名
ジュニアクラス	48名

障がい者のアクアムーブメント(日曜日月1回開催)

R5年10月10名	11月13名	12月12名	令和6年1月12名
2月9名	3月9名	4月7名	5月(中止)
6月11名	7月9名	8月11名	9月9名

○川崎市多摩スポーツセンター キッズ・ジュニアクラス

ークラス当たりの参加人数を少なくしたままの開催だが次第に参加者も増え盛況となってきたそれでもスタッフ人数を確保し一人当たりの受持ち人数を少なくし他ことにより充実した練習となり、参加者は十分な練習が出来ました。

○川崎市多摩スポーツセンター シニア・成人・アクアビクス

昨年度の工事と冬場の寒さが影響し多くの方が他の施設に移動してしまいました。少ない人数での練習となり、参加者は十分な練習が出来ました。今後も、指導力の向上を図り、安心して楽しく水中運動が出来る状況を確立していきたいと思います。

○川崎市多摩スポーツセンター 障害者のアクアムーブメント

期日	令和5年10月～令和6年9月 第3日曜日月1回開催
時間	午前9時30分～10時30分
対象	中学生以上の知的障害者
内容	水泳・水中運動指導
参加人数	3月13名 5月9名 6月15名 7月14名 9月11名
指導員	専属職員2名、アルバイト指導員2名
目的	川崎市多摩スポーツセンター内プールにて、中学生以上の知的障害者に対してアクアムーブメントの理論と実践体系を活かした水泳・水中運動を行い、将来に向かって心身の健康増進をはかる。

収支	収入	17,692,575円
	支出	
	職員給与	4,308,000円
	アルバイト給与	3,774,850円
	交通費	707,960円
	交際費	19,414円
	会議費	23,396円
	諸会費	10,500円

保険料	54,946 円
研修費	20,075 円
支払手数料	6,930 円
講習会費	90,506 円
法定福利費	501,306 円
福利厚生	456,756 円
計	9,974,639 円
収支	7,717,936 円

マスターズ練習会

場所	国立代々木競技場室内水泳場 〒150-0041 東京都渋谷区神南 2-1-1 50m 1～2 レーン		
日時	日曜日隔週 16:30～18:00 R5 年 10 月 3 回、11 月 2 回、12 月 2 回、R6 年 1 月 2 回、2 月 2 回、3 月 2 回、4 月 3 回、5 月 4 回、6 月 3 回、7 月 2 回、8 月 3 回、9 月 3 回		
参加人数	各日 5 名～12 名が参加していた		
練習内容	近代泳法 4 種目の練習と 200m 個人メドレー完泳を目指し、各種目のターン練習及び種目変換のターン練習を行った。基礎技術の練習を多く行った。8 月は日曜日以外にも泳ぎ込み練習を 7 回おこないました。		
成果	参加者の何人かは世界マスターズ大会、日本マスターズ片貝に参加しマスターズの楽しさを味わいました。		
収支	収入	講習料	486,540 円
	支出	講習会費(施設利用料等)	403,820 円
		講師料	150,000 円
		福利厚生(指導員用スイミングゴーグル等)	54,309 円
		研修費	37,000 円
		計	645,129 円
	収支	-158,589 円	

代々木成人水泳教室

場所	国立代々木競技場室内水泳場 〒150-0041 東京都渋谷区神南 2-1-1		
日時	火曜日 11:30～13:00 R5 年 10 月 3 回 11 月 2 回 12 月 2 回 R6 年 1 月 2 回 2 月 2 回 3 月 2 回 4 月 3 回 5 月 2 回 6 月 2 回 7 月 3 回 8 月 2 回 9 月 2 回		
参加人数	各日 11 名～16 名		
練習内容	近代 4 泳法を正確に泳げるようにする。水中でのスタートの仕方、ターンニ		

ング、スカーリング等の基本テクニックと、肩甲骨周りの筋肉の動かし方等を指導

収支 収入 講習料 682,440 円

支出 講習会費(施設使用料等) 349,111 円 講師料 135,000 円

支払手数料 660 円

計 484,771 円

収支 197,669 円

知的障害者競泳練習

場所 横浜国際プール 国立代々木競技場室内水泳場

日時 R5 年 10 月 5 回 11 月 5 回 12 月 4 回 R6 年 1 月 4 回 2 月 3 回
3 月 7 回 4 月 4 回 5 月 4 回 6 月 4 回 7 月 6 回 8 月 4 回
9 月 4 回

参加人数 各日 2 名～5 名

練習内容 耐乳酸トレーニング、スプリントトレーニングを中心として練習を組み立てている。単純なトレーニングメニューだけでなく、複雑な組み合わせを入れていく。参加者は国体やマスターズ大会にも出場する軽度な知的障がいの人たち中心でインターハイを目指す障がいのない高校生も参加した。水泳が上達したいという本人の意識も強いものがある

収支 収入 講習料 320,600 円

支出 講師料 260,000 円 講習会費 86,891 円 交際費 5,356 円

計 352,247 円

収支 - 31,647 円

横浜国際プール長水路練習会

場所 横浜国際プール

日時 R6 年 6 月 1 回 7 月 1 回 8 月 1 回 9 月 1 回

参加人数 各日 3 名～6 名

練習内容 競泳 4 種目のフォーム練習に加え、今年の横浜国際プールのメインプールは水深 2m で稼働していたので、飛び込み練習も行った。

収支 収入 講習料 33,660 円

支出 講師料 20,000 円 講習会費(プール使用料等) 14,800 円

交通費 400 円

計 35,200 円

収支 - 1,540 円

スタート練習会

場所	横浜国際プール
日時	R5年10月1回 令和6年3月1回 5月1回 6月1回 7月1回 9月1回
参加人数	1回5~14名
練習内容	横浜国際プール(サブプール水深2.5m)において飛び込みから浮き上がりまでのスタート局面のみの練習会を行った。飛ぶこと、正しい入水角度の習得を主な目的に数多く飛び込み練習を行った。
収支	収入 講習料 85,800円 支出 講習会費(施設使用料) 17,600円 講師料 25,000円 計 42,600円 収支 43,200円

プライベートレッスン

場所	横浜国際プール 国立代々木水泳場 武蔵野の森水泳場
日時	R5年11月2回 12月3回 R6年1月1回 2月2回 3月1回 4月1回 5月1回 6月1回 7月1回 8月1回 9月1回 9月2回
練習内容	今年度のプライベートレッスンは小学生競泳希望者などの方が参加しました。本人の希望に添うように時間と施設を有効に使いました。
収支	収入 講習料 99,000円 支出 講師料 60,000円 計 60,000円 収支 39,000円

その他の事業は行いませんでした